

# 兵庫の林業

2017. 10 No. 282



「県立森林大学校の実習の様子」

## もくじ

- 兵庫県立森林大学校  
オープンキャンパスを開催・・・1
- 兵庫県立森林大学校第2期生の募集・・・2
- 「ひょうご森のまつり2017」を  
多可町中央公園周辺で開催・・・3、4
- 分収造林に係る木材生産の取組状況・・・5
- 「六甲山の災害展2017」の開催・・・6
- △普及だより▽
- 但馬地域における野生鳥獣害対策への  
取り組み・・・7
- △森林ボランティア活動▽
- 兵庫ドングリ千年の森をつくる会・・・8
- 10月29日(日)は「ひょうご森の日」県内  
各地で森づくりイベントを開催・・・8
- 企業の森づくり活動状況やしろ波光の森・・・9
- 林業会館建替えスケジュールと各団体  
移転先・・・9、10
- まもなく狩猟のシーズンです！・・・11
- 兵庫の巨樹・巨木(23) (裏表紙)
- 題字・・・兵庫県知事 井戸敏三氏

### 表紙の写真

森林大学校では、7月から演習林での伐木実習を行っています。講師の指示のもと、ひとつひとつ安全を確認し、慎重かつ正確に立木を狙った方向に伐倒する、という一連の作業を何度も繰り返し行います。

伐倒後は、講師や他の学生とともに切株を確認しアドバイスを受けたり、安全なかり木処理の方法を教わったりしながら、少しずつ技能を向上させています。

まだまだスピーディーな伐木作業とはいえませんが、森林林業の即戦力を目指して、安全かつ効率的な伐木作業が行えるよう、技能の向上に努めています。

## 兵庫県立森林大学校 オープンキャンパスを開催

兵庫県農政環境部農林水産局林務課

### 1 はじめに

県では、森林林業の即戦力となる人材、次代のリーダーとなる人材、森林を通じて地域に貢献する人材の育成を目指して、森林林業に関する専門知識などを学ぶ2年制の専修学校として、平成29年4月、兵庫県六栗市に兵庫県立森林大学校を開校しました。

このたび、森林大学校2期生の募集に際し、学校のPRを広く行うため、オープンキャンパスを8月5日(土)と8月26日(土)の2回来年度から校舎となる六栗市立染河内小学校等で開催しました。



在校生（1期生）の体験談

また、オープンキャンパス当日は、学校説明会と併せて、西播磨県民局が林業体験イベント「集まれ林業男子・林業女子 in 西播磨」を開催し、鹿肉バーガーの試食や高性能林業機械の操作体験、製材工場の見学等を行いました。

### 2 学校説明会

学校説明会には、県内外から延べ41名の参加があり、大学校のカリキュラムや入学試験、通学・住居等の生活環境についての説明、在校生による体験談のほか、校舎見学、林業事業体のパネル展示による紹介を行いました。



林業事業体のパネル展示

### 3 森林動物の剥製展示・鹿肉バーガー試食会

鳥獣害対策について知ってもらうため、森林動物研究センターによる森林動物の剥製と解説パネルの展示（5日のみ）、鹿肉バーガーの試食体験を実施しました。鹿肉をミンチやスライスにして柔らかくする工夫がされており、参加者からも「想像していたよりおいしい」と好評でした。



鹿肉バーガーの試食

### 4 林業体験会

林業現場での仕事について理解を深めてもらうため、地元の林業事業体による立木伐採の実演と、参加者による高性能林業機械（プロセッサ、グラップル、フォワード）の操作体験を行いました。



グラップルの操作体験

### 【8月26日】

川上から川下への林業全体の理解促進のため、大学校生によるチームソー実演、参加者によるドローンの操作体験、大型製材工場の見学を行い、ドローンを使った新しい森林調査の手法など先進的な林業や、木材がどのように製造されているかを体験してもらいました。



ドローンの操作体験

## 兵庫県立森林大学校 第2期生の募集について

兵庫県立森林大学校

専修学校兵庫県立森林大学校では、平成30年4月入学の第2期生を募集しており、入学試験を次のとおり実施します。

入学試験は、前年度実施した「学校推薦入学試験」、「一般入学試験」に加え、学習活動以外の経験や森林林業への熱い想いなどをアピールしていただく「自己推薦入学試験」、林業事業体\*への就業予定者や、既に就業されている方を対象とする「事業体推薦入学試験」を新設し、試験の多様化により、意欲ある学生を募集します。詳細は左記及び下表のとおりです。

(1) 【推薦・一般共通】  
次のすべての条件を満たす人。  
① 本県の森林林業振興に熱意を持ち、人物及び健康に優れる人  
② 平成30年4月1日現在40歳以下の人

(2) 【学校推薦】  
次のすべての条件を満たす人  
① 高等学校長が責任をもって推薦できる人  
② 学業成績は、調査書の評価平均で3.0以上であること  
③ 本校を専願する人  
④ 本校を専願する人  
⑤ 高等学校卒業程度認定試験の合格証明書又は合格成績証明書  
⑥ 推薦書(推薦入試のみ)  
⑦ 無料送迎バス利用申込書(利用される人のみ)  
⑧ 出願方法  
⑨ 持参又は郵送(簡易書留)  
⑩ 問合せ・願書提出先  
県立森林大学校  
〒671-4192  
六栗市一宮町安積1347-3  
TEL 0790-7222700

(3) 【事業体推薦】  
次のすべての条件を満たす人  
① 林業事業体の長が責任をもって推薦できる人  
② 本校を専願する人  
③ 本校を専願する人  
④ 本校を専願する人  
⑤ 高等学校卒業程度認定試験の合格証明書又は合格成績証明書  
⑥ 推薦書(推薦入試のみ)  
⑦ 無料送迎バス利用申込書(利用される人のみ)  
⑧ 出願方法  
⑨ 持参又は郵送(簡易書留)  
⑩ 問合せ・願書提出先  
県立森林大学校  
〒671-4192  
六栗市一宮町安積1347-3  
TEL 0790-7222700

(4) 【自己推薦】  
本校を専願する人  
2 課程 森林林業専門課程  
3 募集定員 20名  
4 教育期間 2か年  
5 試験会場 県立森林大学校  
6 無料送迎バス  
試験当日は、姫路駅南口及び六栗市役所から送迎バスを運行します。利用される方は、願書提出時に無料送迎バス利用申込書を提出

### 入学試験等の募集概要

区分	募集人員	願書受付	試験日	合格発表	試験科目
第1回 推薦入試(学校推薦)	定員の半数程度	H29.10.10(火)~H29.10.27(金)	H29.11.10(金)	H29.11.17(金)	小論文、面接
第1回 一般入試	定員の半数程度	H29.11.13(月)~H29.12.1(金)	H29.12.15(金)	H29.12.22(金)	国語、数学、面接
第2回 事業体推薦【新設】 推薦入試	若干名	H30.2.19(月)~H30.3.2(金)	H30.3.16(金)	H30.3.23(金)	小論文、面接
第2回 自己推薦【新設】 一般入試					国語、数学、面接

★募集要項等の詳細は、県ホームページからダウンロードできます。(https://web.pref.hyogo.lg.jp/cs01/moridai2017\_2.html)

# 11月5日(日)「ひょうご森のまつり2017」 を多可町中央公園周辺で開催

兵庫県、多可町、(公社)兵庫県緑化推進協会の共催で「ひょうご森のまつり2017」を11月5日(日)多可町中央公園周辺(多可町中区岸上)で開催します。兵庫県は平成30年に県政50周年を迎えます。今回の森のまつりは県政50周年記念事業のプレイベントとしても位置づけられています。



さて、「ひょうご森のまつり」は、森や緑が、生命の源泉である水を貯え、土砂災害を防ぎ、心や身体を癒すなど、県民共通の財産であることを認識し、県民参加による森づくりを一層推進し、かけがえない森林を次世代に引き継いでいくことをめざして開催しています。

今年で61回目を迎えるこのイベントは、昭和31年に植樹など緑化の普及を目的に姫路市で開催した「兵庫県緑化大会」が始まりで、

その後、社会情勢や県民のニーズなどにより変遷を重ね、現在の「ひょうご森のまつり」になりました。

身近にある緑豊かな自然の恩恵を知り、森を守り育てる大切さを学び、県民一人一人が森について考えるきっかけとなるように、体験型プログラムも組み入れた気軽に参加できるイベントです。

本年度のテーマは「活かそう資源、育てよう未来の森」です。

多可町の総面積の約8割の森林のうち、人工林は61%です。このうち46年生以上の本格的な利用が可能な森林が約8割を占めています。その有効な活用と、林業生産活動を通じた適切な森林整備の方法など、次代につなげるために果たすべき役割を、ご来場の皆様方と考へ、実践する機運を醸成するのがコンセプトです。

## 【開催会場の「ご案内」】

今回の開催地の多可町は、平成17年に多可郡内の3町が合併して誕生しましたが、本町では、既に



式典が開催され、「敬老文化」のまち宣言」が行われました。

現在、多可町では、このようなオンラインワンの資源を活用し、多可町の名を全国に売り出すため、「やれることは何でもやる」という思いを込めて、「そこまでやったか!多可町」プロジェクトとして多可町のロゴマークを作成し、ウェブサイトや動画で多可町の魅力を発信しています。

このほかにも、動画では、平成の名水百選に選ばれるほど清らかな「松か井の水」、会場から遠望できる広大な山々などの観光資源や伝統ある地場産品、地元木材など地域資源を活用した数多くの特産品についても紹介しています。

## 【ひょうご森のまつりの「ご案内」】

秋の澄んだ高い空のもと、県警音楽隊による演奏が会場の多可町中央公園の周辺にこだましてひょうご森のまつり2017のオープニングです。式典では、主催者のあいさつやご来賓の方々のご祝辞のあと、永年、森づくりに貢献された方々等の表彰式や森林ボランティア活動報告、緑の少年団の宣



中町中学校生徒による竜神太鼓の演奏

誓があり、式典の開催記念としてキジの放鳥と記念植樹を行います。式典終了後はステージプログラムの開演です。

まずは、中町中学校の生徒さんによる竜神太鼓の勇壮な演奏が始まります。竜神太鼓とは、「雨乞いの龍神太鼓」をもとに創作されたもので、「牧野大池」(多可町牧野地区)をつくった先人の苦勞をしのび、鉱山で栄えた旧中町への思いを馳せて高く、低くまた勇壮に打ち鳴らされたとされています。

次は、多可町の農林産物品評会の表彰式があります。表彰された農林産品を含めて即売されます。

このあとは多可高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏会です。日

昭和49年に「兵庫県緑化大会」として旧加美町(青玉神社)で、平成8年に「ひょうご森の祭典」として旧八千代町(ガルトン八千代)で開催されています。

このたびの中区での開催により多可町全3区で森のまつりが実施されることとなります。

兵庫県の北播磨に位置する多可町は、周囲を中国山地(三国岳、千ヶ峰、笠形山など)の自然豊かな山々に囲まれ、これらを源流とする杉原川が加美区、中区の中部を貫流し、野間川が八千代区の中央部を南流して西脇市で県下最長の加古川と合流し瀬戸内海に流れています。

広大な山林と清らかな川の流れば、千三百年の歴史があるとされる和紙「杉原紙」や日本一の酒米「山田錦」の発祥の地とされる米



日本一の手すき和紙「杉原紙」

頃の「地域に学び、貢献し、地域を支える」をモットーに活動している成果を披露して頂きます。

また、お笑い芸人の「髭男爵」のコントライブもあります。

最後に次期開催地の福崎町への引き継ぎ式があり、ステージからの餅まきで締めくくります。

皆様、是非会場周辺で秋の一日を存分にお楽しみください。

また、別会場の多可町余暇村公園では、里山林整備体験活動を実施します。会場まで送迎し、整備方法などをご説明しますので、この機会に、秋空の下、一汗かかればいかがでしょうか?

展示販売ブースでは、鶏肉などの食べ比べや播州百日どりのイベント、森のスタンプリリーなど多彩な催し物でいっぱいです。

また、今回の森のまつりは、「多可町ふるさと産業展」と同時開催します。多可町の産業のPRや特産品、採れたての農林産品の販売や物産品の展示など多可町の魅力を



会場には駐車場はございません。各臨時駐車場から無料シャトルバスをご利用ください。詳細は公式サイトにてご確認ください。多可町HP <http://www.takacho.jp/mor/inomatsuri2017/index.html>



里山林整備体験会場(多可町余暇村公園)

十分にお楽しみ頂けます。それでは会場の皆様のご来場をお待ちしています。(掲載写真は多可町からの提供)



日本一の酒造好適米「山田錦」  
日本酒で乾杯の町 多可

づくりなど、産業と個性ある文化を生み出し、今日まで脈々と受け継がれてきました。

また、戦後、野間谷村(旧八千代町)が9月15日を村独自の祝日としたことが「敬老の日」の発祥とされています。平成28年9月15日には秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、敬老の日制定50周年記念



国民の祝日「敬老の日」発祥のまち 多可

# 分収造林事業に係る木材生産の取り組み状況

公益社団法人 兵庫みどり公社

## 一 はじめに

当社の分収造林事業は、昭和37年に兵庫県造林公社として発足して以来、慣行共有林等を対象に分収造林契約による拡大造林並びに除間伐等の保育を推進してきました。分収造林面積は、平成28年度末時点で19,410haとなっています。

## 二 木材生産の取り組み状況

主伐期を迎えたヒノキ林については、木材価格の上昇が見られず厳しい状況が続いており、主伐の実施を見合わせている一方で、スギ林を中心に、経済性・公益性に配慮した利用間伐事業を積極的に進めております。また、将来の主伐事業実施に向け、作業道の開設と利用間伐を組み合わせ、作業の効率化や高性能林業機械による搬出コストの削減、山土場での直接販売による運搬経費の削減等による収益性の確保と利用間伐の拡大に努めております。



写真1 利用間伐実施状況

また、県内の木質バイオマス発電所へは、朝来バイオマス発電所を中心に、燃料用チップ材となる林地残材の活用と材料の安定供給に取り組んでおります。

## 三 新たな取り組み

今年度から新たな取り組みとして、『花粉発生源対策促進事業』を活用した主伐事業を実施しております。この事業の特徴は、花粉症の緩和に向けて、花粉の発生源となっているスギ及びヒノキを伐採・除去して花粉症対策苗木等（少花粉苗木）に植え替えるというものです。

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29 (計画)
利用間伐面積 (ha)	206	223	212	225	276	360
搬出材積 (m³)	12,921	16,301	15,334	17,482	22,908	28,440
作業道開設 (m)	21,152	34,136	28,373	35,327	40,141	39,300

表1 過去5箇年の利用間伐実績と計画

## 四 最後に

公社の分収林は「環境に配慮した森林施業と持続可能な森林経営」を目指し、森林認証を取得しております。森林認証材の需要も少しずつ注目されており、「持続可能性に配慮した木材」と公社分収林の役割を担い、引き続き適切な森林管理に努め、循環型林業に寄与します。

(森林管理課 札幸次郎)



写真2 山土場での搬出状況

朝来市山東町野間において、約4haを実施しており、素材生産による収穫や跡地造林等、近年数少ない作業を実施し伐出コストの削減や獣害対策等の課題と検討に取り組んでおります。

## あれから50年 昭和42年六甲山系豪雨土砂災害

# 「六甲山の災害展2017」の開催

兵庫県農政環境部農林水産局治山課

## 一 はじめに

緑豊かで県民の憩いの場である六甲山系では、昭和13年の阪神大水害をはじめ昭和36年、42年豪雨による大規模土砂災害が発生しています。また、平成7年の阪神・淡路大震災は未曾有の被害をもたらした地震災害として記憶に残っています。

このように、幾度となく発生している六甲山系での災害の歴史を学び、また、実験装置等による体験を通じ、山地災害に関する知識や防災意識の向上を目的として「六甲山の災害展」を8月15日から27日までの夏休み期間中に「人と防災未来センター」において開催しました。

また、今年には98名の人命を奪った昭和42年豪雨災害から50年の節目であり、はげ山からよみがえった六甲山における山地防災の歴史を巡るツアーを特別企画として災害展期間中の2日間（8月20日、23日）実施しました。

## 二 歴史を学び・実験装置で体験

災害展では、六甲山系で発生した昭和13年の阪神大水害や昭和42年豪雨による土砂災害発生時の貴重な映像や写真等を展示し、神戸市街地等が甚大な被害を受けたことを学んでもらいました。

また、会場では「土石流実験装置」、「3D立体映像装置びっくりくん」、「地すべり模型実験装置」等による実演に加え、森林・はげ山・岩山の3種類の土壌について保水力の違いをペットボトルを使って比べることができ、実験も行いました。



土壌の保水力実験



土石流実験装置による実演

三 六甲山の緑の原点探索ツアー  
江戸から明治にかけての六甲山は、雪が降り積もったかのような真っ白なはげ山で、毎年、大雨ごとに土砂災害が発生していました。このため、明治36年から大正4年にかけて再度山一帯では、石積みや植林工事が実施されるようになりました。

また、昭和42年豪雨災害では、神戸市街地等への土砂流出で甚大な被害を受けたことから、県は六甲治山事務所を設置し、治山ダム等の整備を進めてきました。

探索ツアーは再度公園周辺において、明治の石積みや昭和の治山ダムなど、先人が技術と努力により築きあげた防災施設や、それらによりよみがえった六甲山の緑を森林インストラクターの案内で巡りました。



明治期に実施された石積み



森林インストラクターによる案内

## 四 おわりに

災害展来場者へのアンケート結果では、来場した約66%の方から「防災意識が向上した」と回答がありました。また、感想では「ハザードマップの確認」、「避難経路を再確認する」、「周辺の危険箇所を確認する」等の感想が寄せられ、防災意識の向上は微力ながら果たせているかと感じました。

また、探索ツアーへのアンケート結果では、参加者の98%は「参加してよかった」との回答を得られ、感想では、「先人の苦労と偉大さを感じた」、「治山ダムの効果がわかった」等の感想があり、治山事業の普及と効果等を伝える事が出来たと感じました。

今後も、県民の皆さま一人一人が理解し行動できるように、減災活動に取り組んでいきたいと思っております。



緑がよみがえった再度山

### 但馬地域における野生鳥獣害対策への取り組み

但馬県民局 豊岡農林水産振興事務所

#### 1 はじめに

但馬地域は山や川、海など自然環境に恵まれており、シカやイノシシ、クマなど多様な野生鳥獣が生息しています。夜になるとシカが道路を闊歩し、かつては役場にクマが来客したことがあるなど、都市部と比べて野生動物は身近な存在でもあります。しかし、その野生鳥獣による平成28年度の農林業被害は地域全体で約2億円にも及びます。但馬県民局では被害低減と個体群管理の両立を目指し、市町や狩猟者など関係者と協力して被害対策に取り組んでいます。

#### 2 鳥獣害対策における課題

但馬地域では、(1)ベテラン狩猟者の高齢化が進み、特に銃器狩猟者が減少傾向にあります。また、(2)集落が過疎・高齢化し、鳥獣防護柵を管理・指導する人が減少しています。但馬地域では今後もこの傾向が続くと考えられるため、平成21年度から、担い手育成と集落ぐるみの被害対策の支援に力を入れてきました。

#### 3 担い手育成への取り組み

若い即戦力の捕獲者確保を目指し、①「マイスター育成スクール(H21～、H26より全県事業)」を開講しています。同スクールは主に銃器狩猟者の育成を目的とし、技術習得を支援しています。スクール修了生は猟友会員だけでなく、県の鳥獣保護管理員や市町の鳥獣害対策員として活躍しています。また、近年増加している罾狩猟者のうち、初心者を対象に、②「くくり罾の技術講習会(H25～)」を開催しています。この講習会ではベテラン狩猟者を講師に招き、セミナーと現地実習により実践的な講習を行っています。技術の習得はもちろん、狩猟者の交流の場となっており、たいへん好評です。現在活躍している銃器狩猟者の支援では、技術交流を目的に、銃器による③「市町間での連携捕獲(H27～28)」や、京都府、鳥取県との④「府県間での連携捕獲(H21～)」を実施しています。この取り組みは、銃器狩猟者が減少し

ている中で将来的に必要となる、市町の垣根を越えた捕獲体制の構築を見据えています。



マイスター育成スクール



くくり罾の技術講習会

#### 4 集落指導への取り組み

集落で鳥獣害対策の核となる人材の育成を目的に、⑤「集落ぐるみ被害対策モデル実証(H21～24)」等を行いました。同対策を行ったある集落では、県内外からの視察が来ていると聞きます。



集落ぐるみ被害対策モデル実証

また、平成26年度から、⑥鳥獣被害対策やクマ対策のDVDを作成し、集落に配布しています。近年は集落農会が捕獲に取り組みむなど、集落の捕獲意欲が向上し、「里」での対策体制が構築されつつあります。

#### 5 今後の取り組みについて

今後は再造林対策も見据えて、これまで捕獲が行われておらず捕獲体制の整っていない「山地」がターゲットだと考えています。試験的に山地での捕獲を行う「高標高地域における誘引捕獲(H27～)」などによりノウウハを蓄積して、県が事業主体となり捕獲を行う「指定管理鳥獣捕獲等事業」や、森林整備を担う森林組合等と連携した捕獲体制の構築を進めていきたいと考えています。

### 森林ボランティア活動 兵庫ドングリ千年の森をつくる会

会長 本丸明子

「兵庫ドングリ千年の森をつくる会」は、「今できること 私たちにできること」そして未来につながる「こと」の発想から生まれた、身近な環境づくり活動のため、平成十三年に兵庫県明石市に発足しました。活動は株主から一株五百円の寄付をいただき、どんぐり拾い、育苗、植樹、下草刈の費用にあてられています。

株主は0歳から九十歳、住所は北海道から九州まで幅広い方が参加されており、平成二十八年度会員は七百名になっております。



波賀町での植樹ボランティア

なぜ「どんぐりの森」を育てるか？それは西日本の自然植生は明石城公園などに育っているアラカシ・イチイガシ等のカシ類・シイ類等の通常「ドングリ」と言われる常緑広葉樹になるからです。人間が何もしなかつたら明石川流域

もすべてがどんぐり山だったはずなのですが、地域事情等から自然植生を伐採し、人間の衣食住に都合の良い方向へと変わりつつあります。また、経済原理によって外国産の材木がたくさん輸入され、間伐や枝打ち等が行われないために森林の崩壊が心配されています。これらの適切な森林管理と共に、伐採された山を自然植生であるどんぐりの森に再生していく必要があるのです。

今、急速に豊かな自然環境が失われると共に、地域特有の文化が失われています。そして皆さんの環境問題が起きてきます。これは人間が自然を自由に操ろうと考へ始めたことが大きな原因とされています。会では「どんぐり株主」のネットワークを広げ、風土を築く基盤としての緑豊かな自然環境を取り戻すと共に、緑を大事に守り育てるといふ地域の共通認識(地域哲学)を築きたいのです。ひとり一株によるどんぐりの森づくりは、千年をかけて風土を築くという遠大な夢なのです。

### 10月29日(日)は「ひょうご森の日」

#### 県内各地で森づくりイベントを開催

兵庫県豊かな森づくり課森づくり普及班

兵庫県では、平成17年10月に県立有馬富士公園で第29回全国育樹祭が開催されたことを契機に、毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と制定しました。

今年の「ひょうご森の日」にあたる10月29日(日)を中心とした10月～11月に、里山の除間伐等の森づくり体験活動、木工クラフトや自然観察、炭焼き、ハイキング、森のコンサート、栗拾い、燻製作等、森に親しむことができるイベントが県内各地で開催されています。



ハイキング



森のコンサート

※「ひょうご森の日」イベントの詳細な情報は、兵庫県ホームページに掲載しています(「ひょうご森の日」で検索)。※イベントの内容は、天候や準備の都合で変更・中止となる場合があります。

各団体等移転先仮事務所所在地・連絡先

団体・その他	移転先 所在地	TEL(〃は変更) FAX(〃は変更)	地図No. 移転日
兵庫県森林組合連合会	三角ビル(兵庫区) 1~3F 〒652-0881 神戸市兵庫区松原通2-2-2	078-381-5425 078-381-5435	① 11/1
兵庫県木材業協同組合連合会	第三大知ビル(中央区:営林緑化が入居) 5F 〒650-0013 神戸市中央区花隈町12-6	078-371-0607 078-371-7662	② 10/31
(一社)兵庫県治山林道協会	兵庫県土地改良会館(中央区:林業会館南隣り) 3F 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-12	078-371-0210 078-371-6632	③ 10/27
兵庫県林業種苗協同組合	第三大知ビル(中央区) 6F 〒650-0013 神戸市中央区花隈町12-6	078-351-0734 078-351-0734	④ 10/30
(公社)兵庫県緑化推進協会	第三大知ビル(中央区) 6F 〒650-0013 神戸市中央区花隈町12-6	078-341-4070 078-341-4071	⑤ 10/30
(一社)兵庫県林業会議	第三大知ビル(中央区) 6F 〒650-0013 神戸市中央区花隈町12-6	078-351-3341 078-351-3341	⑥ 10/30
(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター 神戸水源林整備事務所	東洋ビル(中央区) 3F 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-19	078-571-0133 078-571-0135	⑦ 10/28・29
株西村風見園 神戸営業所	第三大知ビル(中央区) 5F 〒650-0013 神戸市中央区花隈町12-6	078-361-2606 078-361-2607	⑧ 10/31

※(一社)兵庫県林業会議の移転に伴い、兵庫県水源林造林協議会、兵庫県林業改良普及協会、兵庫県公有林野協議会、兵庫県林業協会、近畿北陸水源林造林協議会、ひょうご木の匠の会、兵庫県林友会の事務局も移転します。



企業の森づくり活動の紹介「やしろ波光の森」

三菱電機(株)高周波光デバイス製作所

三菱電機株式会社高周波光デバイス製作所(所在地:伊丹市)は



企業の森づくり活動参加メンバー

同社の「環境ビジョン2021」の一環として、兵庫県立やしろの森公園において企業の森づくり活動を開始しました。森林整備活動等を通じて森林の公益的機能の維持増進に配慮するだけでなく、社員自らが汗をかき、地球環境を保全する取組みを行っています。



間伐作業

この活動では、普段の生活では接する機会が少ない森林や動植物を肌で感じ、触れ合える森林をめざし、活動参加社員や公園利用者が親しめる「森づくり」を行っています。(公社)兵庫県緑化推進協会



遊歩道の整備作業

兵庫県林業会館(築後44年)を大規模な木造建築が可能なCLTを活用して建替えることとなり(1階RC造、2~5階CLT構造等)、既に構造計画に着手しています。CLTは、ひき板を繊維方向が直交するよう積層圧着した重厚なパネルで、断熱性・耐火性・耐震性に優れ、木材の利用拡大が期待されます。例えば、CLTパネルと集成材を構造計算に使う設計では、約500㎡の木材が利用できる計算です。一方で、林業会館が防火地域に位置するため耐火仕様とする必要から構造材のCLTは現しにするのが困難など、都市部の事務所ビルに木材利用を普及していく上での課題も見え、専門家の指導の下、柔軟に検討を進めています。各団体が仮事務所に移転を済ませた本年11月から解体工事に、30年3月から建築工事に着手し、31年2月には新林業会館に再入居の予定です。

兵庫県林業会館建替えスケジュールと各団体移転先

兵庫県林業会館建替えスケジュール

年	平成29年		平成30年												平成31年					
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
構造計画	[Blue bar across all months]																			
一括発注	○																			
実施設計																				
確認申請																				
解体工事																				
建築工事																				
移 転		○	○																	○

## “治山・林道測量”



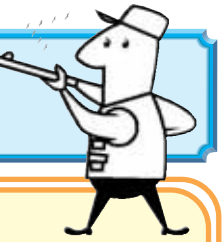
株式  
会社

は経験と実績のある  
石原測量コンサルタント

国土交通省登録第24891号  
県知事許可(般-27)第461481号

本 社 兵庫県宍粟市山崎町 船元250-1  
Tel (0790) 63-1377  
Fax (0790) 63-1398  
営業所 兵庫県姫路市夢前町筋野1078-3  
Tel (079) 336-1418

## まもなく狩猟のシーズンです！



●11月15日から翌年2月15日までの間は、狩猟が解禁となります。

ただし、シカとイノシシは3月15日まで。

●入山者の皆さんは、目立つ服装や鈴やラジオなど、音の出るものを身につけましょう。

●狩猟者の皆さんは、**ルールを遵守し、狩猟事故ゼロをめざしましょう**

### ◆入山者（林業従事者やハイカー）の皆さんへ

1. 山の中へ入られる際は、黄色など明るい色の目立つ服装を心がけてください。また、白色のタオルはシカの尾と間違えられやすいので、注意して下さい。
2. 土曜日・日曜日・祝日は、狩猟者が集中しますので、特に注意して下さい。
3. けもの道に仕掛けられたワイヤーロープの「くくりわな」は、非常に危険ですので、わな設置の看板（標識）がある場所へは近づかないで下さい。

### ◆狩猟者の皆さんへ

#### 【重要なお知らせ！】

・本年度も、ツキノワグマの狩猟（銃猟）を**制限付きで実施**します。

- ①県への事前承認申請のほか、安全講習会への参加が必要です。
- ②ツキノワグマの狩猟期間は11月15日から12月14日の30日間です。
- ③狩猟で捕獲できる数は、原則狩猟者1人あたり1頭です。

1. ニホンジカの捕獲頭数の制限はありません。また、クマが生息しない淡路地域のみ、輪の直径が12cmを超えるくくりわなを使用してシカ及びイノシシを捕獲できます。
2. 猟銃の使用が禁止されている場所（鳥獣保護区、休猟区、特定猟具使用禁止区域《銃器》、公道等）では、絶対に銃猟を行わないようにしましょう。
3. 猟場が人家近くではないか、入山者の入り込みがないかなど、事前に猟場の状況を十分に確認しましょう。
4. 「わな」には決められた標識を付け（第三者にはずされない工夫を行ってください）、見回りを励行しましょう。
5. 他人の土地や森林に立ち入って、自由に狩猟する権利が認められているわけではありませんので、土地所有者等から立ち入りを断られた場合には、狩猟を行わないようにしましょう。
6. 特に、さく等で囲まれた土地や作物のある土地に立ち入る場合は、土地所有者（占有者）の承諾を得ることが法律で定められています。
7. また、「国有林野」や「官行造林地」に立ち入る場合には、事前に「入林許可証」の交付を受けてください。
8. 平成30年1月7日から21日までの間、全国一斉に「ガン・カモ調査」が実施されますので、カモ猟の自粛をお願いします。
9. 法律や狩猟マナーを守り、無理のない、心にゆとりのある狩猟を心がけましょう。  
(兵庫県農政環境部環境創造局鳥獣対策課)



土・木・緑・そして人  
とりもどそう 人にやさしい環境

株式会社

グリーン興産

〒671-4141 兵庫県宍粟市一宮町東河内1003  
Tel 0790(72)1553 Fax 0790(72)2327  
URL <http://www.greenkousan.co.jp>  
E-mail: info@greenkousan.co.jp

みどりの集い.com あなたと共に 未来へつなぐ 森林づくり

## 安全はプロへの第一歩



刈払機



玉掛け



小型移動式クレーン

〒675-1307 小野市菅田町南野739-14

キャタピラー教習所 0794-67-2211

## 英語・中国語コース開催中!



## 緑を育み水をつくる水源林造成事業

国立研究開発法人森林研究・整備機構  
森林整備センター近畿北陸整備局

### 神戸水源林整備事務所

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-18 (10月27日まで)  
TEL(078)371-2411 FAX(078)371-2413

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-19 (10月30日より)  
TEL(078)571-0133 FAX(078)571-0135

### 兵庫県水源林造林協議会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-18 (10月まで)  
TEL(078)371-2446

〒650-0013 神戸市中央区花隈町12-6 (11月より)  
TEL/FAX(078)351-3341

## レインボー薬品の林業薬剤

レインボー薬品株式会社と住化グリーン株式会社は、  
非農耕地向け事業のリーディングカンパニーを目指すことを目的とし、  
平成29年10月1日をもちまして合併いたしました。  
お客様の信頼を第一に全力を尽くす所存でございます。  
引き続きのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。  
平成29年10月吉日



**レインボー薬品株式会社**  
本社：東京都台東区上野1丁目19番10号  
大阪営業所：大阪府池田市鉢塚3丁目8番15号  
TEL：072-761-1770/FAX：072-761-1488

レインボー薬品株式会社

## エムシー緑化の 林業用薬剤

ススキ ササ地に

松枯防止樹幹注入剤

**フレック** 粒剤10

**マツガード**

発売元 **正和商事株式会社**

大阪市中央区道修町1丁目3番4号 〒541-0045  
TEL 06 (6203) 4541 FAX 06 (6203) 4347

森林を守り育て、地域の安全・安心を確保する**治山事業**。  
美しい森林、豊かな緑を確保する**林道事業、造林事業、  
松くい虫防除事業**。



**一般社団法人 兵庫県治山林道協会**  
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18  
TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632

兵庫県治山林道協会



## 私たちは、緑を育て、緑を守っています。



〒652-0881  
神戸市兵庫区松原通2-2-2(11月から)  
兵庫県森林組合連合会  
TEL：078-381-5425  
FAX：078-381-5435  
E-mail：hyogomori@hyogomori.jp  
HP：http://www.hyogomori.jp/

### ふるさとの木「兵庫県産木材」おすすめします

当連合会では、公共施設や公共土木の工事、地域型住宅グリーン化事業等で使用される兵庫県産木材の証明、兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度の申請に必要な県産木材（ひょうご県産認証木材製品）使用住宅証明書の発行を行っています。  
兵庫県産木材は、当連合会に設置している県産木材供給部会の部会員が積極的に供給しております。  
詳しくは、当連合会のホームページをご覧ください。  
**兵庫県木材業協同組合連合会**

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号 (H29年10月まで)  
〒650-0013 神戸市中央区花隈町12番6号 (H29年11月から仮事務所で運営)  
Tel：078-371-0607 Fax：078-371-7662 URL：http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/

### 自己流で使っていませんか？

#### チェーンソー・刈払機の安全講習のご案内

講習を受けて、正しい使い方を学びましょう！

チェーンソー（大径木等伐木）作業従事者特別教育		刈払機取扱作業安全衛生教育	
H29.12.14~15(予定)	中はりま森林組合(神河町寺前)	H29.11.17(予定)	中はりま森林組合(神河町寺前)
		H30.1.26(予定)	三木山森林公園(三木市)

**林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部**

日本の森林とともに歩いて60年  
**一般財団法人 日本きのこセンター**

日本きのこセンターは国産材を活用した原木きのこ栽培を応援しています

本部 鳥取市富安1丁目84番地 Tel0857-22-6161 (代)  
鳥取事務所 鳥取市古郡家211 Tel0857-51-8132 Fax0857-51-8133

山  
人  
の  
と  
暮  
ら  
し  
を  
守  
る

**Husqvarna**

550XP-JP/XPG-JP

レッドトッド・デザイン賞2013  
ベスト・オブ・ベスト受賞製品



AutoTune  
■排気量：50.1cm<sup>3</sup>  
■出力：2.8KW ■質量：4.9/5.1kg(XPG)

### 本当の価値が分かる方へ！

安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、プロが認めるチェーンソーの最高峰です。  
革新的な技術を融合し、これまで以上のパワーでさらなる軽量化に成功した500シリーズをぜひお試しください。

**愛林興業株式会社**

本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL (079) 234-8181(代)  
神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL (0790) 32-0570番  
但馬店 養父市上野1357 TEL (079) 664-2101番



## 緑の募金にご協力をお願いします

緑の募金は地域の緑化活動への助成やボランティア団体が行う森づくりへの助成に活用しています。  
ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

ご寄付の方法

- 郵便振込（手数料無料）  
郵便の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。  
専用の払込取扱票用紙をお送り致します。
- 銀行振込（手数料が必要）  
口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所  
普通 3198438  
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会



〈秋季募金運動期間〉  
9月1日～10月31日

**公益社団法人 兵庫県緑化推進協会**

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号(10月まで)  
〒650-0013 神戸市中央区花隈町12番6号 (11月から)  
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071  
HP http://www.hyogo-green.net/





# 兵庫の巨樹・巨木 (23)

②6 神河町山田區(御旅所)のサイカチ

【幹周251cm・樹高12m・樹齡不明】



県道8号山田區御旅所のサイカチ

県道8号で神河町山田區御旅所の歩道と越知川の間に一本の大きな木がある。これぞ、この地に残るサイカチである。

地元の人から聞いた話では、山田地區は度々、越知川の氾濫があった地区で、そこで河川沿いに並木状にサイカチを植栽したとのことである。今では二本しか残っておらず、そのうちの一本である。

まさに地域の人々の暮らしと共に生きてきた木がこのサイカチなのであるが、人々の暮らしの変化で忘れ去られる運命の樹になっていると想像される。

この地区ではその昔、隣組名称も稻河原・中島・大瀬・北河原等

の名称で呼んでいたとのこと。

この地区でその昔から共に暮らしてきたサイカチは樹木の地域遺産と呼ぶにふさわしい巨木と言える存在であろう。いずれ消え去る運命かもしれないが、今ここにその存在を表記して、皆さんのお力で一日でも長く延命をとの思いで紹介させていただく次第である。

歩道に毎年横枝が伸び通行障害になるため、その枝は切断されているようだが、出来るだけ丁寧な作業を望みたい。

兵庫県内には未だ他にも樹木の地域遺産が多く眠っていると思う。再発見をお願いしたい。

ここで少し、サイカチという樹木について紹介しておこう。

## サイカチ

マメ科サイカチ属サイカチ

日本固有種・本州・四国・九州に自生し、樹高が20m直径が1mになる。幹に枝の変化した棘がある。



当年枝から出ている棘



幹から棘が出る。茎・枝の変形で茎針と呼ぶ。

雌雄同株で、豆果は薬用になり、サヤをすりつぶして石鹼(サポニン含有)の代用に、また新葉は食用になっていた。

山野や河原に生え植栽もされた。さて、今回紹介した神河町のサイカチの現在の状態は満身傷だらけである。



切断された枝幹に癌腫病



地際がベッコウタケに侵されている。



枯れ枝が多く発生・落下の危険も目立つ。

このままだと、将来長く生きられないかもしれない。早急な環境改善等の措置が必要と思われる。このサイカチから種子を取り後継樹を育て樹と人々の共存の場として後世に残したいものである。今回、ここに紹介した様な樹木をはじめとする兵庫県の緑の文化遺産がこれまで果たしてきた役割や価値観が時代と共に変化してきている。今こそ、これらを発掘し、将来に向けて継承する努力を惜しまない体制が必要ではないだろうか。我々は昔々の話しを発見し、新たな芽を出す様な仕掛けが必要だと思ふ今日この頃だ。

樹木医 橋本光政  
樹木医 宮田和男  
樹木医 塩見晋一